

## 普及活動情勢報告（平成30年6月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課・室戸支所

### IPMは害虫だけじゃない!病気でもIPM推進!! ～北支所管内病害調査、東支所ナス勉強会～



同じ地区でも環境・管理で  
病気の出方が全然違うね

農業改良普及課は、湿度制御によるナスの病害防除技術の普及に本年度から取組を開始しました。

農業改良普及課は、5月18～31日に、JA土佐あき北支所管内の30人を対象にナスほ場内の病害発病度を調査し、管理方法と病害の関連性を把握し、ここで得られたデータを基に、5月30日には、JA土佐あき東支所のナス勉強会で生産者26人を対象に湿度制御による病害防除について指導しました。

しかし、生産者からは湿度制御技術への質問が出なかったことから、まだまだ関心が薄いことがうかがわれました。

農業改良普及課は、湿度制御実践農家の協力を得て、環境測定データや病害発病度を調査・分析し、得られたデータを活用して湿度制御による病害防除技術の普及に取り組みます。

### 花きIPM推進に向けて、まずは地道な調査から… ～花卉部芸西支部のIPM技術推進～



ネットの内と外では  
捕虫数が全然違うね

芸西村の施設花き栽培では、アザミウマ類の防除に大変苦慮しています。IPM技術の基本で効果も期待できる防虫ネットの導入が進んでいません。

そこで、農業改良普及課は防虫ネットの導入を推進すべく、防虫ネットの侵入防止効果の把握を目的に、4～5月の毎週1回、粘着シートを使って施設内外のアザミウマ類の捕虫数を調査し、随時生産者に情報提供しました。

生産者からは害虫発生状況を知ることで防虫ネットの効果について興味を示してもらうことができました。

農業改良普及課は、次作が始まる8月からも調査を継続します。

### フザリウム立枯病対策にむけて ～中芸地区野菜園芸研究会～



熱心に説明を聴く生産者

6月6日、中芸地区野菜園芸研究会が勉強会を開催し、生産者20人が出席しました。

農業改良普及課は、フザリウム立枯病の症状や対策を説明し、安芸市での土壌燻蒸剤による古株枯死処理の取組事例等を報告しました。

生産者からは、「パイプかん水でも古株枯死の処理はできるか」など立枯病対策を実施するにあたって、多くの質問がありました。

農業改良普及課は、引き続き関係機関と連携し、部会活動を通じてフザリウム立枯病対策の普及を図ります。

## 集出荷場を点検してきました!! ～集出荷場GAPチェック巡回～



要チェックや!!

6月7日、農業改良普及課・園芸連・JA土佐あき園芸課で、管内8つの集出荷場を対象に集出荷場GAPのチェック巡回を行い、異物混入の防止や作業者の安全確保などができているかを確認しました。

本園芸年度では今回で最後の巡回となり、終盤に入って整理整頓がされていない集出荷場やきれいに整頓維持されている集出荷場など様々であることがわかりました。

今回は農繁期であったため、当事者に立会ってもらうことはできませんでした。

農業改良普及課は、より良い生産物流通を目指し、この点検結果を生かして集出荷場の改善を支援します。

## 6次産業化セミナーで新たな加工品を開発しよう! ～女性部なすっこ組の活動～



ナス加工品づくりに  
意欲的なグループ員

6月14日、JA土佐あき本所で第1回6次産業化セミナーが開催され、受講するJA土佐あき女性部なすっこ組の9人が出席し、今年度の方向性を検討しました。

農業改良普及課は、セミナー受講に先立って、課題や今後の取組内容について整理しました。

セミナーでは、アドバイザーから、ナスの加工は難しいが需要は多いという状況や、既存加工品の「なすまん」は皮の発酵技術の向上が課題との指摘を受けました。

農業改良普及課は、次回セミナーまでに取組内容を決定できるように企画調整し、セミナーを効率的に受講できるように支援します。